

令和2年3月遠野市議会定例会会議録（第4号）

令和2年3月6日（金曜日）

- 議事日程 第4号**
 令和2年3月6日（金曜日）午前10時開議
- 第1 議案第1号 遠野市森林環境譲与税基金条例の制定について
- 第2 議案第2号 遠野市民センター条例の一部を改正する条例の制定について
- 第3 議案第3号 令和元年度遠野市一般会計補正予算（第6号）
- 第4 議案第4号 令和元年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 第5 議案第5号 令和元年度遠野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 第6 議案第6号 令和元年度遠野市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 第7 議案第7号 令和元年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第2号）
- 第8 議案第8号 令和元年度遠野市水道事業会計補正予算（第2号）
- 第9 議案第9号 令和元年度遠野市下水道事業会計補正予算（第2号）
- 第10 請願第1号 遠野市の河川への土砂流出防止に関する請願

出席議員（18名）

- | | | | | |
|----|---|-----|-------|-----|
| 1 | 番 | 小 松 | 正 真 | 君 |
| 2 | 番 | 佐々木 | 恵美子 | 君 |
| 3 | 番 | 菊 池 | 浩 士 | 君 |
| 4 | 番 | 佐々木 | 敦 緒 | 君 |
| 5 | 番 | 佐々木 | 僚 平 | 君 |
| 6 | 番 | 小 林 | 立 栄 | 君 |
| 7 | 番 | 菊 池 | 美 也 | 君 |
| 8 | 番 | 萩 野 | 幸 弘 | 君 |
| 9 | 番 | 瀧 本 | 孝 一 | 君 |
| 10 | 番 | 多 田 | | 勉 君 |
| 11 | 番 | 菊 池 | 由 紀 夫 | 君 |
| 12 | 番 | 菊 池 | 巳 喜 男 | 君 |
| 13 | 番 | 照 井 | 文 雄 | 君 |
| 14 | 番 | 荒 川 | 栄 悦 | 君 |
| 15 | 番 | 安 部 | 重 幸 | 君 |
| 16 | 番 | 新 田 | 勝 見 | 君 |
| 17 | 番 | 佐々木 | 大 三 郎 | 君 |
| 18 | 番 | 浅 沼 | 幸 雄 | 君 |

欠席議員

な し

本日の会議に付した事件

- 1 諸般の報告
- 2 日程第1 議案第1号 遠野市森林環境譲与税基金条例の制定についてから、
 日程第9 議案第9号 令和元年度遠野市下水道事業会計補正予算（第2号）まで。
 （予算等審査特別委員長報告、質疑、討論、採決）
- 3 日程第10 請願第1号 遠野市の河川への土砂流出防止に関する請願
 （産業建設常任委員長報告、質疑、請願差し戻し、付託替）
- 4 休会の議決
- 5 散 会

事務局職員出席者

- | | | | |
|---------|-----|-----|---|
| 事 務 局 長 | 新 田 | 順 子 | 君 |
| 次 長 | 千 葉 | 芳 治 | 君 |
| 主 査 | 及 川 | 憲 司 | 君 |

説明のため出席した者

- | | | | |
|----------------------------------|-----|-----|-----|
| 市 長 | 本 田 | 敏 秋 | 君 |
| 副 市 長 | 飛 内 | 雅 之 | 君 |
| 総務企画部長 | 佐 藤 | 浩 一 | 君 |
| 総務企画部
経営企画担当部長 | 菊 池 | | 享 君 |
| 健康福祉部長兼健康福祉の里所長
兼地域包括支援センター所長 | 鈴 木 | 英 呂 | 君 |
| 子育て応援部長兼
総合食育課長 | 佐々木 | 一 富 | 君 |
| 産 業 部 長 | 中 村 | 光 一 | 君 |
| 産業部プロジェクト担当部長
兼六次産業室長 | 阿 部 | 順 郎 | 君 |

環境整備部長	奥	寺	国	博	君	
会計管理者兼会計課長	鈴	木	純	子	君	
消防本部消防長	菊	池	久	人	君	
市民センター所長	小	向	浩	人	君	
市民センター文化振興担当部長	石	田	久	男	君	
教育委員会事務局教育部長	澤	村	一	行	君	
選挙管理委員会委員長	菊	池	光	康	君	
教 育 長	菊	池	広	親	君	
代表監査委員	佐	藤	サ	ヨ	子	君
農業委員会会長	千	葉	勝	義	君	

午前10時00分 開議

○議長（浅沼幸雄君） おはようございます。御苦労さまです。

これより、本日の会議を開きます。

諸般の報告

○議長（浅沼幸雄君） 日程に入るに先立ち、諸般の報告をいたします。

予算等審査特別委員長から委員会審査報告書が、産業建設常任委員長から請願審査報告書がそれぞれ提出されましたので、その写しをお手元に配付しておきましたから御了承願います。

以上で、諸般の報告を終わります。

日程第1 議案第1号遠野市森林環境譲与税基金条例の制定についてから、

日程第9 議案第9号令和元年度遠野市下水道事業会計補正予算（第2号）まで。

○議長（浅沼幸雄君） これより、本日の議事日程に入ります。

日程第1、議案第1号遠野市森林環境譲与税基金条例の制定についてから日程第9、議案第9号令和元年度遠野市下水道事業会計補正予算（第2号）までの9件を一括議題といたします。

各案件に関し、委員長の報告を求めます。予算等審査特別委員長、瀧本孝一君。

〔予算等審査特別委員長瀧本孝一君登壇〕

○予算等審査特別委員長（瀧本孝一君） 去る2月25日に開会いたしました令和2年3月遠野

市議会定例会において予算等審査特別委員会が設置され、委員長に不肖私が、副委員長に小林立栄委員が選出されました。

本委員会に付託された案件は、議案第1号から議案第27号までの27件です。このうち、3月4日、5日に審査した議案第1号から議案第9号までの9件について、その審査の経過と結果について御報告いたします。

審査の中で、議案第1号遠野市森林環境譲与税基金条例の制定については、積立額について、今後の活用について、森林環境譲与税の算定根拠について、今後の林業振興の取り組みについてなど、議案第2号遠野市民センター条例の一部を改正する条例の制定については、使用料及び利用料金の積算根拠について、サッカー以外のイベントなどの使用について、工事完了に係る告知について、試用期間についてなど、議案第3号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第6号）では、歳入、1款市税では、市税の増額の要因についてなど、歳出、3款民生費では、高齢者福祉推進事業費の減額の要因について、児童館指定管理料及び児童クラブ運営業務委託料の減額の要因について、保育所等運営事業費の減額の要因についてなど、6款農林水産業費では、農業委員等報酬の増額の要因について、農業の担い手からの相談について、多面的機能支払事業費の減額の内容について、遠野ローカルベンチャー事業費の減額の要因について、市有林造林事業費の減額の要因についてなど、7款商工費では、プレミアム付商品券事業費補助金の減額の内容について、ものづくり産業振興事業費の減額の要因について、ふるさと応援推進事業費の増額の要因について、道の駅魅力アップ整備事業に係る内容、チャレンジショップ、インフォメーションの活用、改修工事期間中の営業、厨房の構造、職員の休憩室、岩手県で整備する駐車場、施設維持管理費及び防災機能について、観光一般事務費の増額の内容についてなど、8款土木費では、土淵飛鳥田線工事請負費について、安心安全な水路づくり事業費の減額の理由についてなど、9款消防費

では、同報系デジタル防災行政無線整備事業費の減額の要因についてなど、10款教育費では、今回の休校による学力の影響及び給食費について、育英事業費の減額の内容について、GIGAスクール環境整備事業の内容、ICT支援員の配置、健康配慮及び端末の使用期間についてなど、議案第4号令和元年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）では、医療用機械器具費の増額の要因について、医療用衛生材料費の減額の要因についてなど、議案第7号令和元年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第2号）では、ケーブルテレビ加入金の増額に係る件数についてなど、活発に議論されました。

その結果、議案第1号、議案第2号、議案第4号から議案第9号までの8件については全員の賛成、議案第3号については賛成多数をもって、それぞれ原案のとおり可決されました。

本委員会は、議長を除く委員全員で構成されていますので、審査の詳細につきましては省略をさせていただきます。

以上をもちまして、予算等審査特別委員会の報告といたします。

○議長（浅沼幸雄君） これより、委員長報告に対する質疑を許します。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

○議長（浅沼幸雄君） 1番小松正真君。

○1番（小松正真君） 議案第3号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第6号）に対する修正動議を提出いたします。

遠野市議会会議規則第17条の規定により、荒川栄悦議員、佐々木恵美子議員、そして私、小松正真、以上が発議者ということで提出をしたいと思います。

○議長（浅沼幸雄君） 修正動議取り扱い協議のため、暫時休憩いたします。

午前10時08分 休憩

午前10時45分 開議

○議長（浅沼幸雄君） 会議を再開いたします。

先ほどの動議への対応について、議会運営委員長から報告いたします。議会運営委員長、菊池由紀夫君。

〔議会運営委員長菊池由紀夫君登壇〕

○議会運営委員長（菊池由紀夫君） 報告をいたします。

提出されました本発議案は、本来、当局より提案された原案と並行して審査すべきと定められております。提出すべき時期を逸したことにより、議題として取り扱わないことといたしました。

以上です。

○議長（浅沼幸雄君） ただいまの議会運営委員長の報告に対しまして、質疑を受け付けます。質疑ございませんか。1番小松正真君。

○1番（小松正真君） これは動議なので、その時期を逸したという説明の理由がすごく納得というか、理解ができないんですが。

○議長（浅沼幸雄君） 議会運営委員長、答弁願います。

〔議会運営委員長菊池由紀夫君登壇〕

○議会運営委員長（菊池由紀夫君） 大変考えが錯綜するかもしれませんが、本来、この提出されました発議案については予算に絡むものでございます。そういうものについては本会議が開催される時期、少なくともその時期までには動議として出されるべきものと定められております。

以上です。

○議長（浅沼幸雄君） 1番小松正真君。

○1番（小松正真君） 済みません、全く理解ができません。

例えば今回、補正予算の件で確かに予算委員会はきのう終わりました。しかし、本会議の採決前、このタイミングということで何ら遅いとは思わない、ルールにもものをもってやっていると認識しています。なので、全く理解ができませんよ。そこら辺をもう一度、議運で協議していただけないか。

○議長（浅沼幸雄君） ただいまの小松正真議員の質問の取り扱いについて協議いたしますので、暫時休憩いたします。議会運営委員会を開きます。

午前10時48分 休憩

午前11時30分 開議

○議長（浅沼幸雄君） 会議を再開いたします。
1番小松正真議員の質問に対する答弁から始めます。議会運営委員長、答弁願います。

〔議会運営委員長菊池由紀夫君登壇〕

○議会運営委員長（菊池由紀夫君） 基本的には先ほどの答弁のとおりでございますけれども、よりわかりやすく……

○議長（浅沼幸雄君） 先ほどの説明。

○議会運営委員長（菊池由紀夫君） 先ほどの説明のとおりでございますけれども、よりわかりやすく法律に基づいてお話ししたいと思います。読み上げます。

修正案に対する質疑。修正案は原案と並行して審議されるもので、原案に対する質疑とあわせて許される。この場合、修正案の提出者だけでなく、原案の提出者に対しても質疑ができる。これは修正した場合の行財政に与える影響を十分配慮して審議するために許されるものであります。

以上でございます。

○議長（浅沼幸雄君） 1番小松正真議員。

○1番（小松正真君） はい、わかりました。

ということであればですけど、先ほど休憩中に議会運営委員会をオブザーブさせていただきまして説明をいただきましたが、今後、遠野市議会では予算委員会での討論、そして採決後には幾ら本会議があろうと、予算に関する修正案がもう一切提出できないという認識でよろしいでしょうか。

○議長（浅沼幸雄君） 暫時休憩します。

午前11時32分 休憩

午前11時32分 開議

○議長（浅沼幸雄君） 会議を再開いたします。

議会運営委員長、答弁願います。

〔議会運営委員長菊池由紀夫君登壇〕

○議会運営委員長（菊池由紀夫君） 先ほど発言者の出席をいただいて説明した内容でございますけれども、あくまでも議会運営委員会としては、法にのっとった運営しかできませんよというふうなことで御理解をいただきたいと思っております。

○議長（浅沼幸雄君） 他に質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 質疑なしと認め、質疑を打ち切ります。

これより討論に入ります。反対討論はありますか。1番小松正真議員。

〔1番小松正真君登壇〕

○1番（小松正真君） 小松正真でございます。私は、議案第3号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第6号）に反対の立場で討論いたします。

本日、この本会議に修正案を提出しようと思っておりましたが、残念ながら、それがかなわなかった。予算委員会でもさまざまな議論が交わされました。その議論の中で、不明点、これはだめなんじゃないか、そういう点が多々あったので修正案を提出しようとしたわけですけども、残念ながら、それがかなわなかったということでございます。

きのうの予算委員会でも申し上げましたが、風の丘の改修に私は反対をしております。しかも、それは風の丘の改修そのものに反対をしているわけではなくて、現段階での改修計画が不十分だと、そのことだけをお伝えしたいと思っております。

委託先である遠野ふるさと公社、これから組織変更をしていきたいと、そのようなお話を聞いています。その絵図面も方向性も見えてこないまま、現時点で改修を行ってもよいのでしょうか。その話の中では、新しい産直組合をつくる、本当に風の丘の根本を揺るがす話ではないかと、そのように私は思うところでございます。

今回は令和元年度の補正予算ですけれども、財源の確保、これは補助金にチャレンジすることであれば、令和2年度でも3年度でもできるわけです。風の丘の耐震性に問題はありません。築20年、遠野市内の建物では、まだ新しい部類に入るんじゃないでしょうか。ハード面の整備、それよりも新しい商品を開発する、そして風の丘で市外販売の割合が5割程度と言われていましてけれども、市内の業者さんの割合を8割、9割、もっと上げる。そういう改善をしないまま今の改修工事を行っても、市内に対する経済効果はたかが知れているんじゃないでしょうか。

私は補正予算全てに反対するわけではありませんが、残念ながら、この補正予算全てに反対をすることになりました。議員各位の冷静な御判断をお願いして、私の反対討論といたします。
○議長（浅沼幸雄君） 賛成討論ありませんか。12番菊池巳喜男君。

〔12番菊池巳喜男君登壇〕

○12番（菊池巳喜男君） 議案第3号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第6号）に対しまして、賛成の立場で討論をさせていただきます。特にも遠野風の丘に係る道の駅魅力アップ事業につきまして、賛成の立場で意見を述べさせていただきます。

道の駅遠野風の丘、平成10年の開業から令和元年までに約2,000万人の方が利用され、市民をはじめ、県内外からも遠野風の丘に皆さんが訪ねられております。また、議員各位にも御存じのとおり、地域で生産・加工した菓子類、お酒、農産物等の商品販売にもつながっております。市内の生産者をはじめ、商店、企業などの収入にもつながって地域経済に大きく寄与されております。

今回提案の道の駅魅力アップ整備事業は、東北横断自動車道・釜石秋田線の全線開通に伴う区間唯一のサービスエリア機能はもとより、総合的な産業振興拠点施設として機能を向上させ、内陸と沿岸部の地の利を生かした魅力と存在感を高めることに、国道283号の交通量が減少する中で禍根できない重要な施設でございます。

市の財政状況も厳しいと思う中で、国の地方創生の流れをしっかりと捉え、効果的な事業をタイミングを逃さず実施すべきと考えるところでございます。ぜひこの機会を逃さず、従業員の意欲をさらに高めながら、売り上げ場の増強とリニューアルオープンに向けてソフト・ハード一体となって改修を進め、魅力ある新生、遠野風の丘としてさらなる利用者を引き込み、市内への波及効果を高めるべく施設になるよう期待を申し上げ、議員各位の賛同をお願いするところでございます。終わります。

○議長（浅沼幸雄君） 反対討論ありませんか。2番佐々木恵美子君。

〔2番佐々木恵美子君登壇〕

○2番（佐々木恵美子君） 私は、議案第3号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第6号）に対して、道の駅魅力アップ整備事業に反対の立場で討論いたします。

私は、道の駅魅力アップ整備事業として道の駅風の丘の改修について、地域の活力、遠野の拠点施設づくりを実現とするなら、大賛成です。しかしながら、きのうまでの委員会の中での当局からの説明に多くの不明瞭、不明確な点があり、このような状況で改修を進めるには、その実効性に不安を感じます。

その一つが、商品・産直売り場の面積と、通路面積がニーズに応えられるものなのか、不明確なことです。

今改修の目的の一つは、お客様ニーズであるカートでの買い物や、車椅子でゆったり店内を回れるように売り場面積を広げることです。しかし、カートや車椅子の動線、通路と商品・備品の配置など、相対的な確認がまだなされていません。このまま計画を進めると、でき上がった店内でカートや車椅子が通りづらい、または商品棚の不足など両方が十分に満たされず、ニーズに対応できない結果が懸念されます。5億4,000万円の費用を投じてそのような結果では、お客様、産直組合員、施設現場で働く方々が満足を得ない施設となり、売り上げや職員のモチベーションを下げってしまう残念な結果

につながると考えます。

2つ目は、トイレです。ユニバーサルデザインまちづくりに、トイレは不可欠といいます。人間にとって排せつは我慢できないこと、これは全ての人に共通するものです。トイレにベッドを必要とする声があります。身障者やトイレ弱者にとって求む機能が備わったトイレがあることは、その行動範囲を広くし、幸福感につながると聞きます。共生社会ホストタウンの遠野です。有識者や身障者の方の御意見を求め、新設するトイレの機能をさらに充実し、あらゆる人の行動に喜びと幸福を実現させていただきたいと考えます。

遠野風の丘と言えば農業、6次産業で活躍、女性の皆さんを思い浮かべませんか。開業当初から、その先駆者として顔として、今もなお活躍している女性の皆さんが数多くいらっしゃいます。遠野の農業の底力といえる女性の声として、自分たちが加工できる施設を求める声が随分前よりありました。その培ったわざ、経験、職をこれからの子どもたち、老若男女、食に関心のある方々へ食を伝える、一緒につくる体験工房、6次産業等の試作品づくりなど、利用料をいただきながら使っていただく自由工房があってもよいのではないのでしょうか。

今般出された改修計画では、女性の声がどれほど求められたのでしょうか、どれほどの女性が参画できたのでしょうか。女性の視点、意見が反映されている設計図でしょうか。あと少し、きめ細かい配慮が必要ではないのでしょうか。また、現場の声、意見を求め、持続できる施設づくりを目指していただきたいと考えます。

わくわくする風の丘、わざわざ遠野の風の丘に行きたいと足を運んでいただける施設の実現を目指すために、私たち議員は、費用はこれで足りるのか、仕組みづくりはこれでよいのか。見切り発車ではなく、もう少しだけとどまり、議論と確認を重ね、20年後の風の丘を想像しながら、その魅力づくりに貢献いたしませんか。議員の皆様の御賛同のほど、よろしく願い申し上げます。

○議長（浅沼幸雄君） 賛成討論はありませんか。7番菊池美也君。

〔7番菊池美也君登壇〕

○7番（菊池美也君） 議案第3号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第6号）について、原案のとおり賛成する立場から討論をさせていただきます。

そもそも、道の駅とは、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供と地域振興の寄与の2つを目的とし、地域の創意工夫により、道路利用者へ快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供する施設として、平成5年に創設されたものであります。

創設当時、道の駅に求められた機能は、3つ。24時間を通し、無料で利用できる駐車場とトイレを備えた休憩機能、道路・地域観光・緊急医療などの情報提供をする情報発信機能、そして文化・教養・観光・レクリエーションなどの地域振興施設としての地域連携機能でありましたが、加えて忘れてはならない東日本大震災の教訓により、安心・安全の防災拠点として、東北・北海道で唯一の全国モデル道の駅である遠野風の丘には、防災機能の発揮が新たに求められてきているところであります。

しかし、遠野市地域防災計画、また岩手県広域防災拠点配置計画において、防災拠点として位置づけられているにもかかわらず、遠野風の丘には防災機能の十分な整備がなされていない状況です。

国の地方創生拠点整備交付金に迅速に事業申請し、4つの機能の充実を図ろうとすることができるのは、平成28年度から協議・検討されてきた経過や基本となる計画があるからこそ可能であり、道の駅魅力アップ整備事業の目的は補助金であり、見切り発車の計画という反対論旨が当てはまらないことを指摘させていただきます。

市内150に上る小売・菓子製造事業者や農業生産者にとって重要な市場であり、内陸部と沿岸部の中間地点に位置する遠野風の丘の機能充実と魅力の再発信は、国の地方創生という追い

風に帆を立てる、まさに時宜を得た重要な事業であると受けとめます。

市税の増額の要因、農業の担い手からの相談について、市有林造林事業費の減額要因、観光一般事務費の増額内容、土淵飛鳥田線工事請負費、GIGAスクール環境整備事業費の内容など、予算等審査特別委員長の報告のとおり、活発な議論によって議案第3号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第6号）は、第2次遠野市総合計画の基本構想に合致し、調和と均衡のとれた編成であることが明らかとなりました。

最後に、議員必携の第5章、発言、3、討論、1、討論とはに、何々であるから何々の部分を除いて賛成であるとか、何々の部分を何々に直せば賛成であるという条件つき討論はあり得ない、という記載があることを改めて述べさせていただきます、議案第3号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第6号）についての賛成討論いたします。議員各位の御賛同をよろしく願いたします。

○議長（浅沼幸雄君） 反対討論ありませんか。14番荒川栄悦君。

〔14番荒川栄悦君登壇〕

○14番（荒川栄悦君） 私は、反対の思いで討論をしたいと思えます。

風の丘の考え方、これはもう今まで存在感を示してきたものであります。今の賛成者の話からいっても、そのとおり、風の丘の持つ機能は素晴らしいものだというふうに私は思います。

ただ、その中で、28年度から時間をかけて検討してきたと言いながら、きのう、おとこの委員会審議においては、いろいろ質問した時点で当局の対応の曖昧が多かったと。なぜ3年も時間をかけて、これだけしっかりしたものが答弁できないのかという思いがしました。やはり、これでは何のためにやろうとしているのかと。

あそこにも一つの遠野の宝があるんですよ。これは市民の財産になるんです。それにしっかりとしたものをつくろうという意思が、委員会の議論の中では感じられなかったと。だから、

私は不満なんです。全てにおいて急ぎ過ぎた感があるなと思っております。

防災拠点と言いながらも、指定管理者と行政との間で何ら検討されていない、行政だけの避難所の考えしか持っていなかった、どう対応すべきかと。それがなかったら、いつ、あす、またあそこに行った時点でどんな不便が起きるか、これもわからないものです。

それから、産直組合に関しても、あそこを利用する人たちは、さっき言われたとおり、やはりゆったりした空間が欲しいと。1.4倍になったと言いながらも、その配置の仕組みとか棚のつくりとか、全然その産直組合と意見交換をされていないと。使いにくいんじゃないかという不安が残る、こんなことではうまくないんじゃないですか。もっと時間をかけていいんじゃないですかと、そこを言いたい。やっぱりいいものをつくって遠野のいい宝にすると。この考えがないと、やはりだめだと思っています。

先ほど言われた女性目線、それから最も必要なのは市民目線です。私たちの宝をつくるわけですから、そこが意にそぐわれていないと。それはその図面を引く人はきれいに図面も引くし、考えもするだろうけれども、それが市民目線に沿ったもの、女性目線に沿ったものになっていないとなれば、さらにまたあそこに働く人たちの考え方に沿っていなければ、これはもうつくって、ありゃあ失敗したと。こうあればいい、あああればいいという、後から出たって遅いわけですよ。

ぜひともその辺を、議員皆さんが2日間もかけて、特にもこの風の丘に関しては半日以上もかけて議論したわけですから、この辺を踏まえて、どうあればいいか。また、我々は修正案を出そうとしたが、これはまるっきり知識不足で意に沿わない形で出てタイミングが悪かったと、これもあります。その筆記にあるとおり、これがだめで、これがいいとか言われたようなこともあるけれども、現実問題、我々も補正予算全てを否定しようとは思っておりません。

でも現実、ここでこの補正予算を反対しなけ

ればならないというジレンマにも陥っています。その辺を踏まえて、議員の皆さんの御賛同をよろしく願いして討論を終わります。

○議長（浅沼幸雄君） 賛成討論ありませんか。3番菊池浩士君。

〔3番菊池浩士君登壇〕

○3番（菊池浩士君） 道の駅魅力アップ整備事業に対する賛成討論を行います。

道の駅魅力アップ整備事業は、東北横断自動車道・釜石秋田線、東和釜石間、全長80キロメートル区間唯一のレストスペースであり、また東北・北海道で唯一の全国モデル道の駅である遠野風の丘の機能強化の拠点性の向上を図るものであります。

言うまでもなく、遠野風の丘は、市内150者に上る小売・菓子製造業者、農業生産者にとっても重要な市場であります。その機能の向上は、買い物に来る方も含めると、多くの市民に歓迎されているものと考えます。

また、国の地方創生拠点整備交付金に迅速に事業申請ができたことについても、平成28年度から十分に協議・検討されてきた経過や基本となる計画があるから、可能となりました。

道の駅の整備についても、ハード事業についても中継機能、防災機能、情報発信機能、地域連携機能の強化を目指すとともに、ソフト事業においても新たな商品開発、地場製品のブランド化、県内道の駅との連携、市内の観光施設への集客など、いわゆるゲートウェイ機能の充実などが盛り込まれております。ハード・ソフト面において大いに期待が持てる事業内容と見て取れます。

本事業は、国の地方創生という追い風に、まさに帆を立てる重要な事業であると認識を表明し、賛成討論といたします。

○議長（浅沼幸雄君） 反対討論ありませんか。〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 賛成討論ありませんか。〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

順不同となりましたが、先ほど小松正真議員から出されました動議について、議会運営委員長報告のとおり、取り扱わないこととして御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 御異議なしと認め、議会運営委員長報告のとおり決しました。

これより、議案第3号については分離して採決いたします。議案第3号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第6号）についてを採決いたします。本案に対する委員長の報告は可決であります。議案第3号令和元年度遠野市一般会計補正予算（第6号）について、委員長報告のとおり決することに、賛成の方は1の賛成ボタンを、反対の方は2の反対ボタンを押してください。

〔表決〕

○議長（浅沼幸雄君） 押し間違いはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 以上で、表決を締め切ります。

採決を確定します。賛成多数であります。よって、本案は委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、議案第1号及び議案第2号、議案第4号から議案第9号までの8件を一括して採決いたします。採決は表決システムにより行います。委員長報告は、議案第1号及び議案第2号、議案第4号から議案第9号までの8件については可決であります。本案は委員長報告のとおり決することに、賛成の方は1の賛成ボタンを、反対の方は2の反対ボタンを押してください。

〔表決〕

○議長（浅沼幸雄君） 押し間違いはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 以上で、表決を締め切ります。

採決を確定します。賛成全員であります。よって、本案は委員長報告のとおり決定いたしま

した。

**日程第10 請願第1号遠野市の河川への
土砂流出防止に関する請願**

○議長（浅沼幸雄君） 次に、日程第10、請願第1号遠野市の河川への土砂流出防止に関する請願についてを議題といたします。

本請願に関し、委員長の報告を求めます。産業建設常任委員長、多田勉君。

〔産業建設常任委員長多田勉君登壇〕

○産業建設常任委員長（多田勉君） 2月25日、産業建設常任委員会に付託されました請願第1号遠野市の河川への土砂流出防止に関する請願書は、去る3月3日、当常任委員会を開催いたしました。

当請願の紹介議員として、当常任委員会委員2名が当たっていることから、請願者並びに関係者に対する説明責任を果たしていく上で、公平公正な審議に対し、誤解を招くことが懸念されます。

については、当委員会では公平公正な審議の機会を確保するため、この請願を議長に差し戻しをすることと判断し、これを提案申し上げます。議員各位の御賛同をお願いいたします。

○議長（浅沼幸雄君） これより、委員長報告に対する質疑を許します。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま産業建設常任委員長の報告のとおり、請願第1号の付託について、これを差し戻すことに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 異議なしと認めます。よって、請願第1号の委員会付託については、議会運営委員会に差し戻すことに決しました。

議会運営委員会を開催するため、暫時休憩いたします。

午後0時03分 休憩

午後0時07分 開議

○議長（浅沼幸雄君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

休憩前に決しておりました請願第1号の付託替えにつきましては、総務常任委員会に改めて付託いたしますので、御了承願います。

休会の議決

○議長（浅沼幸雄君） お諮りいたします。3月7日から12日までの6日間は、休日及び委員会審査のため、休会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 御異議なしと認めます。よって、3月7日から12日までの6日間は休会することに決しました。

散 会

○議長（浅沼幸雄君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

本日は、これにて散会いたします。御苦労さまでした。

午後0時07分 散会

